

救命の風を起こそう！ ～ 一歩踏み出す勇気を持って！！ ～



第214回 サポートセンターの日 発表団体

■NPO 法人セーバー風・ジャパン
理事長 小泉 亮一氏
理事 栗原 由夫氏
理事 坂本 英敏氏



ロゴマークは風を表しています

スポーツをはじめとする各種イベントの開催において、参加者の怪我や急病などの予期せぬ事態発生時に、心臓マッサージ等の一次救命処置を行うことで人命救助や被害の軽減を図ることを目的として活動している団体です。平成30年に設立、当初のメンバーは警察OBが中心でしたが、現在看護師等がスタッフとして参加、将来的には消防OBや救命救急士の任用も計画しています。また、職場や学校に出向き救急救命講習の開催や救護員の育成をはじめ、AEDや人工呼吸器、救急救命器具等の紹介・販売等の事業も行っています。

<https://www.saverkazejapan.com/>



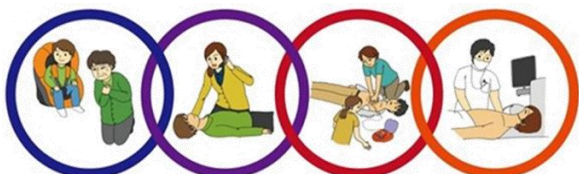


救命の風を起こそう！

警察 OB である理事長は、退職後も防犯パトロールなどの啓蒙活動を続ける中で、警察 OB の方々から「まだ人のために働きたい」「人を守るという情熱は消えていない」という考えを多く聞いていました。「命を助ける」という社会貢献を行うことで、生きがいや満足感を得てもらう場を仲間に提供したいという思いと、理事長自身、現役時代に現場で救命処置を施す場面に多く立ち会い、その大切さを実感していたことから、人命救助・被害軽減を目的とした NPO 法人の立ち上げを決意しました。そのため、現在のスタッフは定年退職した警察官中心となっています。設立後の活動は、主に福岡県の障害者スポーツ協会や各種スポーツ団体等の中小規模のイベントへの出動です。大規模なスポーツイベントには、医師や看護師が常駐しているのに対し、中小規模のイベントでは、予算の都合からそのような対策がとられていないことが多いのが現状で、この問題解決のため日々活動されています。活動回数は、平成30年度46回、令和元年度36回と順調でしたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、いろいろな大会が中止となり、出動はありませんでした。そのため、各方面の助成金等の申請で活動資金を確保し、スタッフのスキルアップのための研修会開催や AED 等の機材を購入するなど今後の活動を広げていくための準備の年にしました。



救命の輪をつなごう！



心停止の予防 早期認識と通報 一次救命処置 二次救命処置

左の図は、人の命を救う4つの「救命の輪」です。

左から3つ目までは特別な資格は不要で、その場に居合わせた人ができることです。1つ目は「予防」。事故にあわないよう、健康管理などで自分の身を守ることです。2つ目は「通報」。他の方の協力を求め119番に通報します。3つ目は「一次救命処置」。安全な場所に移動し、心臓マッサージを開始します。場合によっては AED による心肺蘇生を試みます。ただし、AED が使用可能な

事象は1%程度のため、やはり心臓マッサージが基本です。いずれの場合も、コロナ禍の状況下では、傷病者がコロナに感染しているという前提で対応することが原則であるため、口にタオルをかける等の感染防止策をとって処置にあたるのが大切です。



心臓マッサージは、強く、早く、絶え間なく押します。

「骨が折れても、命が助かる方が大切です。」



最新の AED は、音声で強度や早さについて指示されるので、適確な処置が出来ます。



異物が喉に詰まった時の除去。咳を促し、みぞおちの下を親指で突き上げます。背中の肩甲骨の間を叩く方法もあります。



一歩踏み出す勇気を持とう！

心停止した傷病者に対し、その場に居合わせた人が救命処置を行うことで蘇生率は2倍になると言われています。倒れている人に遭遇した時は、躊躇せず直ぐに救命処置を行うことが大切です。

もし処置を行うことで状態が悪くなったとしても罪に問われることはありません。(民法第698条 緊急事務管理による) 今回の発表会では、AED 等の機材の進化や、コロナ禍での注意点等を知ることができました。知識と経験を重ねるためにも地域や職場などで開催される救命講習に参加し、少しでも自信に繋げることが大切です。私たちの勇気で救命の風を起こし、輪をつなぎ、社会貢献に参加しましょう。



助成金情報



助成制度名	分野	実施主体	締切
令和3年度みなとや海辺の活動支援助成	環境	北九州市港湾空港局計画課	2/26
2021年度地域福祉振興助成	福祉	公益財団法人木口福祉財団	3/15
第33回 地域福祉を支援する「わかば基金」	福祉	社会福祉法人NHK厚生文化事業団	3/30
2021年度 ポーラ伝統文化振興財団助成	文化	公益財団法人 ポーラ伝統文化振興財団	3/31
2021年度タカラ・ハーモニスト ファンド助成事業	環境	公益信託タカラ・ハーモニスト ファンド事務局	3/31
連合・愛のキャンパ地域助成	NPO	日本労働組合総連合会	3/31
連合・愛のキャンパ中央助成			

※当センターの助成金コーナーに紙ベースでの情報を設置しています。
また、**ホームページ(キラキラネット)**の「助成金情報」にも掲載しています。

右記のQRコードからご確認くださいませ。→



**事前に
団体登録が
必要です**

ロッカーを利用しませんか？

【用紙や備品を持ち歩かなくて良いと、大変好評です！】

北九州市内で活動するNPO法人や市民活動団体等の活動支援の一環として、
資料や用品類などを保管できる「ロッカー」の貸出しを行っています。

- 応募条件：北九州市市民活動サポートセンターに団体登録をしている
NPO法人や市民活動団体
- 応募方法：キラキラ3月号、ホームページ（キラキラネット）等でお知らせします。



【お願い】

事務所内のレイアウト変更等に伴い、今年度のロッカー使用は3月25日（木）までとさせていただきます。保管物の撤収にご協力をお願いします。



NPO法人数・新規設立法人情報



北九州市内のNPO法人数： 304団体（令和3年1月末現在）

※市内に主たる事務所を置くNPO法人数

【新規設立法人】 令和3年1月中に認証

・NPO法人SDGs Spiral



市民活動のお悩み解決！相談＆セミナー情報（無料・要予約）



法人
対象

税理士相談会

会計や税務に関する相談（1団体1時間）

3月の税理士相談はありません。
次回は4月以降に開催予定です。

NPO
対象

NPO 入門説明会

NPO法人設立の準備を始めた方向け

3月10日（水）、3月24日（水）
19時～20時（原則第2・4水曜日）

どなた
でも

サポートセンターの日

3月25日（木）
18時30分～20時

定員：20名

※ご来場の際は、感染防止のために
マスクの着用をお願いいたします。

誰一人取り残されないために
～心のバリアフリーを目指して～

発表：百瀬ミュージックボランティアグループ
代表 百瀬 由の氏

音楽を通じて障がい者、高齢者との心の交流やリハビリ（音楽療法）の訪問活動を行っている団体です。
コロナ禍での活動の工夫などをお話しいたします。



Thinking 野口相談員

●何かしたいと思う方、実際に活動をしている相談員と話すことで形が見えてくることがあります。野口相談員の担当は、第1、第3、第5土曜日17時～21時です。（要予約）

新型コロナウイルス感染症に、振り回される日々が続いています。無視して生活することはできませんが、必要以上に恐れるのも違うだろうと思います。「コロナに負けない」と拳を振り上げるのも、術中に嵌まっているようです。ひとつ確かなことは、この一年の間に「日常」と呼ばれていたものの内容が様変わりしてしまったことです。その代表は、コミュニケーションの取り方でしょう。集まってワイワイは禁忌になりました。

そんな今だからこそ、という訳でもありませんが、足下を見つめる・故郷に眼を向ける朗読会とワークショップを行っています、対策には十分注意を払って。北九州が生んだ、忘れてほしくない詩人・作家の作品を肉声で味わっていきます。『普段着で読む「北九州」』として、連続6回で進行中です。最後は、ひびしんホールで開催します。

（3月28日（日）13時30分～、お問合せ、お申込は、090-7442-9215（野口）まで ※有料）
ぬかるみにいる時には焦らない。でも前進するには足を踏み出さなければなりません。



前回の朗読会の様子

NPO・市民活動の相談窓口

◆北九州市市民活動サポートセンター

TEL：093-645-3101

FAX：093-645-3102

開館時間：月～土10：00～21：00

日・祝10：00～19：00

（毎月第1・3・5月曜日及び年末・年始は休館日）
北九州市八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ3F

HP（キラキラネット）<http://www.kirakirakitaq.jp>

メールアドレス kitakyusc3101@gmail.com



HPは
こちらから

編集後記

気になっていたトーチ
バーナーを買いました。

サーモンにチーズをの
せて炙れば…。お店でし
か食べられなかったあの
味が！

浮いたお金で「春に行
く券」を買おうかな♪

b y うらら